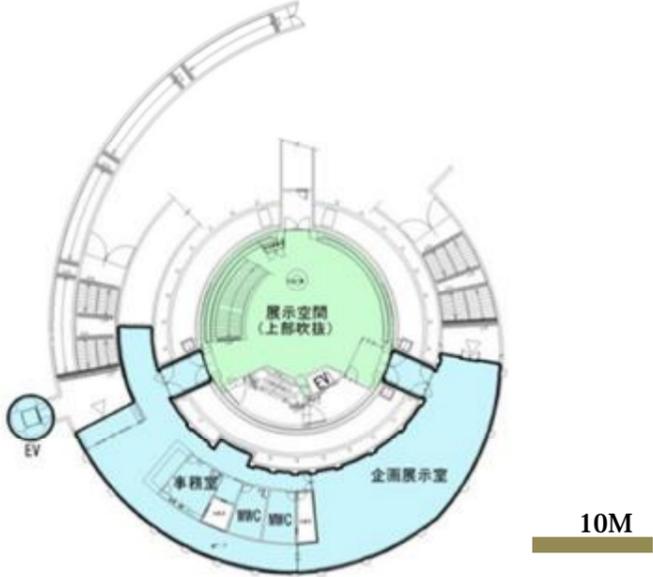
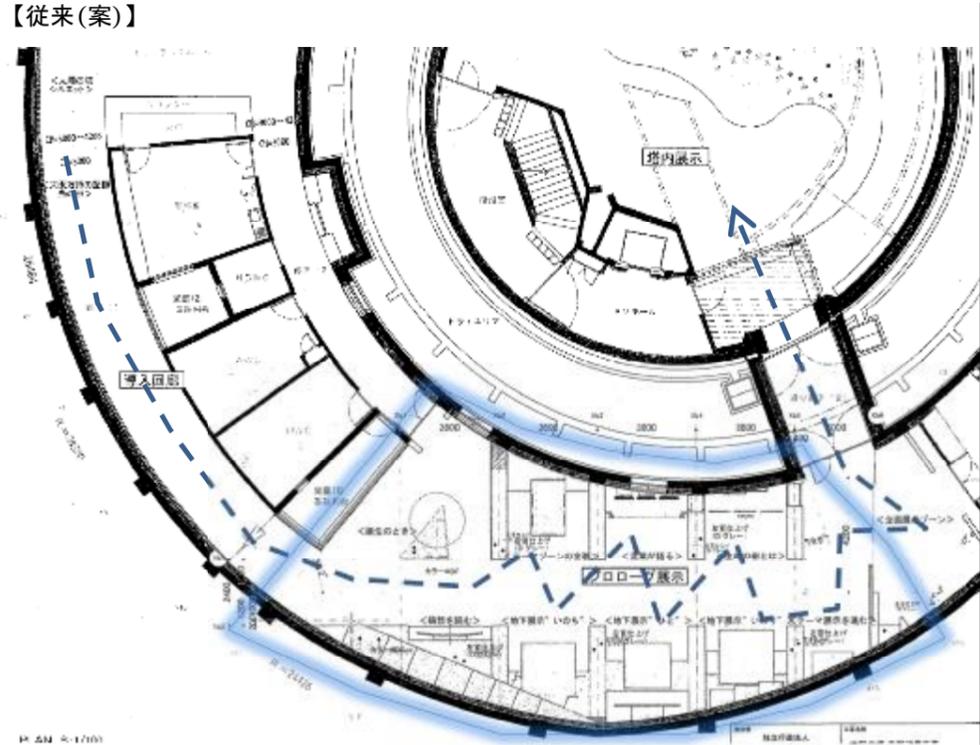


太陽の塔の内覧について

	【案】	展示内容の変更(案)	
整備イメージ			<p>1. 展示の意図 生命の樹の理解を深めるために、博覧会当時のテーマ館などを解説。</p> <p>2. 展示の内容</p> <p>①導入回廊 博覧会の写真を展示、天井の窓から塔を見上げる。</p> <p>②プロローグ展示：岡本太郎の太陽の塔の発想・創作の過程、当時の地下展示の様子などを模型、展示、映像により解説。</p> <p>③企画展示</p> <p>④生命の樹</p> <p>⑤空中展示：生命の樹を巡る階段に当時の空中展示の写真・解説文を設置。</p>
審議に基づく設計の改定	<p>・企画展示室内に多くの展示を詰め込みすぎであるとの意見を受け、展示の内容を変更。</p>		
整備内容	<p>①塔本体の耐震補強工事</p> <p>②最下層から上層まで「生命の樹」を鑑賞するため階段、エレベーターを整備。</p> <p>③出入口として、太陽の塔正面左側に階段、スロープ、外部エレベーター、塔右側に階段を整備。</p> <p>④最下層に展示室、事務室、WC等を増設。</p>		
整備費 (見込み)	約9億円		
運営費 (見込み)	約6千万円 (年間)		
備考	◇展示の設計について再委託が必要。	<p>・『いのり』(地底の太陽)を復元。</p> <p>・紗幕スクリーンを設置し、当時の展示空間の情景を3Dで投影し、テーマ展示の世界観を伝える。</p> <p>・当時の仮面や神像を展示。</p>	